

からす新聞

第2号

カラーズロゴ募集

マスコミにも募集中

前号でお知らせしたように、当塾の名称はカラーズと決定した。近隣のパーマ屋と同じ名まえだ、という指摘もあったが、我々は我々の道を進む、ということと、変更はない。

名称に続いて、今度は、ロゴを広く募集することになった。ホーム・ページ、レターヘッド、などなど、様々なカラーズ・グッズに採用されることになるし、ロゴと言えば、ある意味で塾の顔となるものである。未長く親しめるものが望ましい。こぞって応募して欲しい。

特に制約は設けていないので、自由に創造して欲しい。なお、締め切りは七月一五日。



今日の紙面	二画(文化面)
	松本と話そう。ピン、ボン、パン
	鳥瀬画伯の似顔絵
	村上の英語小テスト
	三画(芸術面)
	みんなの詩
	特別インタビュ
	レイズ・ギャラリー
	四画(教養面)
	八幡堀井の法律教室
	五画(スポーツ面)
	ワールドカップ開幕
	六画(トビックス)

発行所 東京都中野区中央5丁目1番2号西田ビル4階 〒164-0011 からす新聞本社 電話03-3382-5963 ©からす新聞本社
 からすホームページ <http://www.st.rim.or.jp/~shachio/colors/> 投書・お問い合わせのE-mail : shachio@st.rim.or.jp

何が人間というものを規定するのか。直立歩行して火と道具を扱う、というようなことではなく、霊長目ヒト科の哺乳類である、というようなことでもなく、考える畜である、というようなことでもなく……そういったことではなく、人間は自分をどのように規定するのか、という話である。こんな話を始めたのは、生徒たちが、ある意味で私より余程大人らしく思考する瞬間があるのになぜなのか、と考えたことに端を発する。

随分前の話だが、授業中に「わかりません」を連発するクラスを持ったことがある。無理は承知で中学受験をしてみる、という三人組だった。「わかりません」を連発できるのだから、なかなか健全なクラスだった、とは言えるのだけれど、教える側としては、わかってもらいたい、と思うものだし、それが私の仕事の一端であることは間違いない。例によって、いろいろと観察して判ったことは、彼らは「わからない」のではなく、わかるはずがない、と思っ込んでいるのだ、ということであった。普通の問題集を使っている限りはそれなりの問題でも解けるのに、表紙に「中学受験」と書かれていて、あるいは「問題の末兵(※)中学」などと書かれていたりすると、同じレベルの問題でも途端に解けなくなってしまう、というような有り様だった。説明するまでもなく、中学受験というイメージが陽気な三人組の上に重くのしかかっていたのである。そこで、私がやってみたことは、わかりません」という言葉を禁止して、わからないときにも、わかります」と言ってみよう、ということだった。その通り、実に馬鹿馬鹿しい話だ。が、馬鹿馬鹿しい話だけに件の三人組はその提案に喜々として乗ってきた。そんなことを何週間かやっていると、彼らの中の、わからないうという思い込みはいつの間にか霧散してしまつた。嘘みたいな話だが本当だ。もつとも、何でもかんでも解けるようになった、というふうな手品みたいな話ではなく、途轍もない問題、中学受験界では未だにそんな問題が横行している(は)解けないままだったことは付言しておく。

私たちは肉体に制限されている。例えば、松本の女鳥羽にうまい蕎麦屋がある、と知っていても、肉体がここ杉並にある限り、その美味にありつくわけにはいかない。雲の上に寝転がって欠伸をする、というふうなことも、どうにもできそうにない。何事かをしでかして物置に閉じ込められていた、幸い、我が家には物置がなかったのだ、そんな目があったことはないが、待ち合わせの公園に行くことができない。私たちは肉体に制限されているし、肉体は束縛されるものなのである。

では、精神は……だろうか。想像してみよう。精神にできないことというのは何なのか。女鳥羽蕎麦に舌鼓を打ちながら、流れる雲に寝転がって、待ち合わせの公園に向かうことさえできないではないか。もちろん、肉体に制限されている以上、現実には不可能なことは存在する。だが、考えてみて欲しい。私たちは自らの精神のブレーキによって、本来不可能ではないかもしれないことを不可能だと思っ込んでいることがありはしないだろうか。人間を規定するもの、それは自らの精神なのではないか。精神は無制限に自由なものに……。

生徒たちが大人らしく思える多くの瞬間、彼らは既成の常識に縛られていただけなのかもしれない。確かに、常識の範囲内で思考し行動することは、一見、安全なように思えるものだ。常識の範囲内であることが問題なのではないし、ましてや、非常識たれ、というような話ではない。そうではなく、常識という精神の枠組みが自ら選んだものなのか、それとも与えられたものなのか、という辺りに、私は拘らずにはいられないのである。

何が原因で彼らがそんな風に、自らの精神によって自分を制限してしまっているのか。家庭の教育なのか。学校での生活なのか。それとも、この社会全体の在り方のせいなのか。実のところ、原因はわからない。けれども、自分の限界を低く見積もることによって、持っている能力を出せないように縛ってしまっているのではあまりにも勿体ない。いや、悲しいのだ、私は。少なくとも、私の生徒にはもっと自由な精神でいて欲しいのである。

「為せば成る」というような精神論を振り廻すつもりは毛頭ない。けれども、「できない」「ありえない」と思った瞬間に、何が、本当に不可能で、ありえない存在に変わってしまつた。そんなことってあるよな、と思う次第である。

(全木)

1クラス4人までの少人数制学習塾

シアス

中野区本町2-50-12 ドエル中野201号
03-3379-1451

宝仙寺
ファミマ
おうめかいどう
中野板上駅
シアス



堀井先生

疾やかすぎはーか?

鳥瀬画伯の似顔絵コーナー

< Dr.村上のきっと役立つ英文法講座 > Vol.3

今日はbe動詞について講義しましょう。中学生も高校生も復習のためしっかり消化するように。

1. be 動詞

主語	1人称	2人称	3人称	複数
現在形	am	are	is	are
過去形	was	were	was	were
過去分詞		been		
現在分詞		being		

英語の文には意味において分けると3つしかない。(1)~は~である。(2)~がある、いる。(3)~は(~を)~する。以上の3つである。(1)と(2)の文に用いられる動詞はbe動詞である。

1.
ex.1) You are beautiful.
ex.2) You are not a boy.
ex.3) Are you a boy?
- Yes, I am.
- No, I am not.

be動詞は上の例文からわかるように、AはBである、つまりA=Bという関係を表す。この場合、主語be補語という形をとるが、主語になるのは名詞またはそれに準ずるもので、補語になるのは名詞、形容詞またはそれに準ずるものである。否定文にするには、beのあとにnotをつけ、疑問文はbeを主語の前にもってくる。

また、補語が形容詞になる場合は、A=BでもAは~な状態であるという意味である。

2.
ex.4) A book is on the table.
ex.5) There is a book on the table.
ex.6) There is not a book on the desk.
ex.7) Is there a book on the table?
- Yes, there is.
- No, there is not.

主語be~で、~がある、いるという表現は勿論使われるが、よりはっきりと存在するという意味でbe動詞を用いる時はThere be ~という表現が用いられる。この場合、be動詞の後に主語がくるのでそれに合わせてbe動詞を変化させる。この場合の疑問、否定も(1)と同じである。

松本と話そう。ピン、ポン、パン

「色即是空」。仏教より拝借。

色があることは、空なのである。

「カラーズという名称でここ、西田ビル4Fは呼称されるようになります。面白いな、と思うのは、俺が最初に閃いたのが「エール」つまり「air」、つまり「空」だった。で、どうして「空」なのかってたら、閃いたものは仕様がなくて言いたいんだが、あえて解釈を試みると、「空」っていったら、何でもありだし、どんなものだって存在できる。そういった場であればいいな、って思ったということでしょう。そうすれば、いろんな「色」が存在できる。「空即是色」ということ。偶然、こういうつながりがあったから面白かった。

こういった偶然の一致は、とてもわくわくする。何か、目に見えない、この世の血管が脈打っていて、そこと自分がつながっているように感じる。これが感じられた瞬間は至福の状態だ。

今まで生きてきて、こういった偶然の一致をたくさん経験してきた。実は、昨日も、今朝もあった。が、小さなことなのでいちいち言わない。けども、最近のやつで強烈だったのを一つ。

半年ほど前に酔って帰宅途中、用賀駅(自宅の最寄り駅)を出たらバカみたいに自転車が駐輪してあって先に進めないことがあった。怒って一台を蹴った。すると誰かが仕組んでいたかのようにきれいにドミノ倒しが始まり、近くにあったバイクでそれが止まった。が、止めてくれた分、そのバイクには深い生傷が刻まれ、そして、その傍らには持ち主が立っていた。「何だ、テメエー」と来て、俺も勢い、それに応じた。・・・が、よく考えれば俺が悪いに決まっている。ふと我に帰り、冷静に話を始めた。そしてその修理代を払うことにした。互いの住所、名前、tel番号を交換した。相手の名は、20才のフリーターで、近所に住む松本吾郎という奴だった。「お互い、松本だったとはね」なんて話を少し交わしてその場は別れた。

数日して、修理代の見積もり書ができたという連絡をもらい、その分の金を用意して再会した。その時は、何だか互いに友人的な感覚が不思議とあった。安くはない額だったが信用して素直に支払えた。そして、その後、共に飯を食いながら、色々話をした。その時の彼の話し切り出しはこうだった。

「実は、すごい驚きというか、何か縁、感じるんですよ。今回ののは同じ松本姓なんて大したことではないが、何と彼の亡くなった祖父が熊本の人で「巖」という名前なんだと、彼はそう続けた。

俺も、何か来たという感覚だった。「松本巖」が「松本巖」に何か伝えたいことがあったに違いない、と。そしてそれは「おまえ、酒で酔って、たかが自転車ごとで怒りを表に出して、その程度のお前でいいの?結構、痛いだろうけど、金払って自分をもう一回、見直してみよう」と直感した。そして、そんな浅い自分がとても醜く思えた。自分は変わらなくては、と思った。

すごく意味ある、偶然の一致だったわけです。これを読んでいる人の中で、誰か、俺も、私もこんなことあったって人、是非、聞かして欲しいな。

今回のミニテスト

問 She is a child is a child.(訳す)

前回の解答

I have been to the airport.
私は空港に行ってきたところだ。
I like those who are kind to me.
私は私に優しい人が好き。
whoの前のthoseはpeopleという意味でよく使われる。

アクアネット
Let's mind the harbour!

湊文社
SORUNSHA

交和パレイユ

Kowa Pareille

祝福の宴の演出を

してみないか。

03-3371-8264

YOSHIKI大好き君：特別インタビュー

前回の松本氏によるhide自殺にまつわるコラムを受けて、XファンのYOSHIKI大好き君(高3)にインタビューした。彼はその日、本願寺前で献花の列に加わった一人である。

——今回の事件、またhide自身に対してどう思ってますか。
事故だとは思いますが、して欲しくなかった。

——後追い自殺する人たちについては。
バカだ。hideも、他のメンバーたちも望んでないはず。でも、自殺した人たちにとってはXは生きがいで、Xに救われてた人たちだったんだと思う。彼女たちはhideと一緒に終わってしまったんだ。

——Xが好きになったきっかけは？
もともと音楽には全く興味なかったんだけど、たまたまテレビで聴いたんです。衝撃的だった。運命の出会いだった。まず第一に音楽だったんです。ギターもカッコ良かったし。

——今も音楽自体がXの魅力ですか？
そうです。それと、ファン同士に団結力がある。みんなと一緒にになれる。理屈じゃなくて、メンバーを含めて自分たちもXなんです。

——確かにライブの映像を見ても、あの行列を見ても、共同体なんだなと感じます。何か宗教団体のようでもあるけど。
確かに宗教なのかもしれない。

——外から見ると、ちょっと近寄りた感じがするという人も大勢いると思う。
でも閉鎖的なものじゃないです。音楽自体孤立するようなものじゃないし、みんなにも分かって欲しい。大体マスコミの報道の仕方にしてもおかしい。見た目で判断するなど言いたい。

——君たちの連帯感がよく分かりました。でも、「俺たち」じゃなくて「俺」はどうなんでしょう。君自身、君の個性がXの中に埋没してしまう危機感のようなものはありますか。

今ずっとしゃべってるのは、全部俺の考えで、実際他の人たちはどうなのか分からない。まわりにXファンは一人しかいないし、たまに会うだけです。

——他のファンたちと一緒に行動しようとは思わないの？
たまに一緒にいたいと思う時はある。去年の解散で、今ファンクラブはなくなってしまっているけれど、あったら入ってもっと多くの人と知り合いたい。

——これから先はどうだろう。ずっとXのファンであり続けるつもり？
自分は永久にファンであり続けます。Xと言う共同体もあり続けると思う。いつかは他の音楽も聴くようになるだろうけど、今はXだけです。

——最後に、君にとってXとは？
並びたいもの。少しでも一緒にいたいもの。越えられないもの。自分に音楽への興味を与えてくれた、ある意味恩人でもあるし、かけがえのない存在です。

——どうもありがとう。
なんだか色々しゃべって訳がわからなくなっちゃったな。

今月のみんなの詩

意思

神山朝人

少年は歩いた
テクテク テクテク
少少うつむいて 足早に
道路を
車が走っている。
父さんが運転するのしか
乗ったことなんか
歩いた
テクテク テクテク
泣かないように
お酒を飲み
煙草を吸う 大人。
お正月に
少しなめたことしかない
テクテク、
テクテク
小さな その手を
力いっぱい握りしめて
TVで見た
遠いところ。
四丁目の端っこまでしか
行ったことなんか
のどが渴いて
ジュースが飲みたかったけれど
涙は、
こらえきれなかったけれど
知らない事が、多すぎたけれど
何にも出来やしないかもしれない
彼は、
それでも
何か いいあった



Rei's Gallery

いつかやろうと思っていたフォトコラージュをやってみました。昨年から今年にかけて大量のチラシ、切り抜き、写真が集まったのでそれを使って制作しました。切って貼るだけの単純な作業なのですが、センスの良さ悪さみたいなものが一目でバレてしまうので、けっこう頭を使って写真を選び、貼る位置を考えました。普段は筆と絵の具で作っていくのに対して、今回ははさみとりのりで作るの新鮮で楽しかったです。完成したフォトコラージュをもとにドローイングをしたのがこの作品です。

法律講座の第2回です。前回の予告通り『法律行為』について説明します。

『法律行為』とは一体何でしょう。「法律」と言う単語の意味なら分かるし「行為」の意味も分かるけど、この二つが一緒になるとなんだか良く分からない言葉になってしまいます。こういうときは辞書にあたれ、ということで早速調べてみると、【広辞苑】では「法律的效果の発生を目的としてなされる行為。行為能力を有する当事者の意思表示とその内容が確定可能・適法であることを要する」、【大辞林】では「当事者が一定の効果の発生を求めて行う行為で、法律がその効果の発生を認めるもの。意思表示を不可欠とし、その方向・数により、遺言などの単独行為、契約(双方行為)、法人の設立などの合同行為に分類される」などと書かれていて、訳が分かりません。おまけに「法律的效果」「行為能力」「意思表示」などという新たな用語まで出現する始末です。しかし、取り敢えず【広辞苑】の定義の順に従って、各用語の意味も調べてみましょう。

まず、「法律的效果」ですが法律用語としては「法律効果」と表現するのが一般的です。その意味は、辞書では「一定の法律要件に基づいて発生する権利義務。例えば、売買契約により発生する買主の代金支払義務、死亡により開始する相続など」となっています。かみ砕いて言うと、お店で買い物をしたら、買った方はお金を払わなくてはいけない(買主の義務)し、売った方は品物を渡さなければならない(売主の義務)逆から言えば、買主は品物の引き渡しを要求する権利があるし、売主は代金の支払いを要求する権利がある)その他にも、買主は売主に領収証を要求できるなど、一つの(売買)契約によって様々な権利義務が発生します。このようなものをまとめて「法律効果」と呼んでいるわけです。

『法律行為』はこのような「法律効果」の発生を目的とする行為なのでから、その意味を、誤解を恐れずに思い切り簡単に表現すると、「契約をすること」となります。法律の専門家を目指すのでなければこの程度の理解で十分だと思われるので、当分の間は『法律行為』『契約』として話を進めます。さて、法律用語の説明ばかりでは飽きてしまうでしょうから、具体的な事例を基に話をすることにしましょう。登場人物は高校生の望月君とカラスモータースのオヤジさんです。

“高校生の望月君は一人でカラスモータースに行きバイクを買い、代金20万円を払いました。”

これを法律的観点から考えてみましょう。この場合、バイクの売買契約を締結するというのが『法律行為』ということになります。そして、その結果望月君は代金を払うという義務(債務)を負い、その代りバイクの引き渡しを請求できるという権利(債権)と云うを得ます。バイク屋のオヤジさんはバイクを引き渡すという債務を負担し、代金請求とい

う債権を取得します。難しく表現すれば、そのような法律効果の発生を目的とした法律行為を行ったのですから、当然ですね。

ところで、望月君は高校生です。留年などの特別な事情が無いがぎり未成年者(20歳未満)です。この点に問題は無いでしょうか。“コンビニでちょっとした物を買う”バイク屋でバイクを買う”不動産屋で土地を買う”これらはいずれも法律上は同じ売買契約です。したがって、原則として同列に扱われます。しかし、これらの契約は明らかにその重要度が違います。子供が“コンビニでちょっとした買い物”をしても問題はありますが、“不動産屋で土地を買う”ということになれば、そのことから生じる結果の重大性を無視するわけにはいきません。

そこで次の「行為能力」というものが問題となってきます。

これは民法上、有効な法律行為を単独でなす能力のことです。そんな能力なら誰にでも有る、と言いたいところですが、先に挙げた例を考えてみましょう。世の中には子供から大人までいろんな人がいます。個人の能力も様々です。例えば土地の「売買契約」ということを考えたとき、小学生の子供が自分だけの判断で損をしないで土地を買うなどということが出来るでしょうか。中には大人顔負けの判断力を持った子供もいるでしょうが、そんな子供は例外で、損をする危険の方が大きいと考えるのが一般的でしょう。そこで民法は、人を『行為能力者(原則として単独で法律行為ができる者)』と『行為無能力者(単独でできる法律行為の種類が制限される者。その意味では、制限的行為(無)能力者と呼ぶべきでしょうが『行為無能力者』という用語が定着しています)』に分け、所謂社会的弱者である『行為無能力者』の行為を制限することによってその保護を図ろうとしているのです。これを『行為無能力者制度』と呼びます。『行為無能力者』としては、先にあげた「未成年者」他に「準禁治産者」「禁治産者」があります(「未成年者」以外については改めて触れることにします)。

と言う訳で、高校生の望月君が一人でしたバイクの売買契約は、完全に有効ではないのです。

では、この契約の運命はどうなるのでしょうか。また、何故未成年者の行為を制限することによってその保護を図ることができるのでしょうか、どうすれば『行為無能力者』は完全に有効な法律行為を行うことができるのでしょうか、これらについては次号で考えることにして、今回はこれにて終了です。

Daddy's Law School

All we need is love.

中山歯科クリニック

診療時間AM9:00 ~ PM9:00
水曜・土曜AM9:00 ~ PM6:00
休診日・祭日

03-3381-1109

広告掲載希望者は当社広告製作部まで御連絡下さい。



篠崎健一 一級建築士 アトリエ
東京都杉並区阿佐ヶ谷北五の十二の三
三三三三〇四五六(電話とファックス)

ワールドカップ開幕 やっぱりしでかしたか

海岸に設置された巨大スクリーン。映っているのはイングランド・チュニジア戦。それまで、むしろ大騒ぎだったのはチュニジアのサポーターだった。前半四十三分イングランド先制。次の瞬間、歓喜するイングランド側に向けてチュニジア側から最初の空き瓶が投げられた・・・。

ワールドカップが始まった。チケット騒ぎで記念すべき日本の初出場に傷がついた格好だが、イギリスではそれどころではない。フリーガンの連中は、予想どおりの狼藉三昧である。始めからチケットなど持つ積もりもないイングランドの酔っ払いたちが、まずは初戦の地、マルセイユでひと暴れた。もはやブランド化したイングリッシュ・フリーガンに挑戦しようとして、各国の我こそはと思うものが集ってきている。まだ序の口である。

暴動を先導しているのは、ごく一部の筋金入りの連中であり、非難が集中するのは彼らに対してだが、その挑発に承えて暴れてしまう大多数こそ、恐ろしい気がする。一人きりで何も為さず、酒の力を借り、お前たちはそうやって他人に操られて団体行動か。そんなことでいいのか。
「暴動を起こすなどたやすい。きっかけを作ってやればいい。後はぞろ

ぞろついてくる」とはヒトラー「わが闘争」の一節である。

あのロンドンの地下鉄で私にビールを振る舞ってくれた彼は、今頃どうしてるだろう。「フリーガン」という評判の向こうにいる彼らは、みんな同じ顔をしていて、集まると一つの塊にしか見えない。ところがそこからひょいとして出てきてビールを差し出した彼に、「おお、こいつ人間だ」という率直な驚きを覚えた私は、すぐに嬉しくなってしまったのであった。うまいビールだった。しかし、考えるまでもなく、その時の私こそ、歪んだ笑顔で酒の臭いと騒音を撒き散らすだけの迷惑な集団の一員にほかならないのであった。

ところで、今回の事件を報じる英国各紙を読んで改めて感じるのは、英語という言語の語彙の豊富さだ。ある英国人記者は、イングランド人の魂から、暴力、人種差別、そして外国人嫌いは相変わらず取り除かれていない、と書いていた。やはり得意分野だからなのか、各紙の記者は、競い合うように、あるいは得意になって、いろんな単語を使い分けしている。いろんな単語があるもんだと、いまさらながら感心した。

さて、偶然か、狙ったものか、例の歓声堂から出版されている単語集に、フリーガン関連の単語を集めた部分を見つけた。相変わらずその意図は不明であり、当のフリーガンたちの側からの視点に欠けるところが物足りないが、あまりにもタイミングがいいので、ここに掲載することにした。紙面の都合上、かなりの部分を割愛して編集し直した。(望)

A Few Grown-ups VOCABULARY BOOK

Section3 Words on Hooligans

このセクションでは、ひとつのテーマに絞ってそれに関連する単語を並べてあります。テーマはフリーガン。これらがすべてではありませんが、いつかイギリス人の粗暴性について英語で語らねばならなくなったとき、活用してください。それから、くれぐれも、これらに該当するようないふことを真似しないでください。

太字は例文のある単語

暴れん坊・・・彼らは何と呼ばれるか

beast	野獣
destroyer	破壊者 wrecker
gang	一味、連中
idiot	まぬけ
lout	武骨者、やつ yob
mob	暴徒、乱暴者 ruffian / thug
troublemaker	問題を起こす者



大暴れ・・・彼らのすること

1.名詞	
clash	衝突 skirmish
destruction	破壊 havoc / mayhem / vand
missile	飛び道具
rampage	暴行 riot / violence / outrage
spree	ばか騒ぎ
stone	石
2.動詞	
drink	酒を飲む
mar	台なしにする
pelt	投げつける hurl

迷惑・・・彼らに対して

1.名詞	
disgrace	汚名 stain, 恥 shame
dismay	落胆
excuse	言い訳
fear	恐れ dread
regret	後悔
treachery	背信行為
2.動詞	
arrest	逮捕する
besmirch	(名誉を)汚す sully
condemn	非難する blame
despair	望みを失う
expel	追放する



おまけ

Sun, The	サン。イギリスで、主に中流以下の労働者層に読まれている、英国内最高部数の新聞。日本で言えば東スポのようなものか。
-----------------	--

例文

If, as the Sports Minister asserted, they were just "drunken, brain-dead **louts**", it would be much easier...

もしもスポーツ大臣が主張するように、彼らがただの「酔っ払いで、頭空っぽの野郎ども」なら、ずっと簡単なんだが・・・

While Yugoslav fans had made up two thirds of the crowd, the few involved in throwing were outnumbered by a furious **mob** of Croatian.

ユーゴスラビアのファンは群衆の三分の二を占めていたが、投げ合いにき込まれた少数(のユーゴスラビア人)は、荒れ狂うクロアチア人暴徒に数の上では劣っていた

The worst trouble was yet to come as hundreds of hooligans continued on a spree of **violence** and **destruction**.

何百ものフリーガンたちが暴行と破壊のばか騒ぎを続けてるわけで、最の事態はまだこれからだ

Charlie has been caught with a **stone** in each hand.

チャーリーは石を両手に持っているところを逮捕されてしまった

Marseilles' police chief blamed World Cup organisers for scheduling the Enn-d-Tunisia match on a Monday, thus giving them two days of weekend **drink** before the kickoff.

マルセイユの警察署長は、イングランド・チュニジア戦を月曜に組んだおかげで、彼らにキックオフ前二日間の週末の飲みを許すことになったんだとして、組織委員会を非難した

Pakistanis started **pelt**ing Indian fans with **missiles**.

パキスタン人たちはインド人ファンに飛び道具を投げつけ始めた

The angry Premier declared: "There is absolutely no **excuse** for it."

怒れる首相は断言した。「そのことについて言い訳はまったくありません」

Judges used emergency powers to expel the 56 arrested men from France.

判事たちは56名の逮捕された男たちをフランスから追放するため非常権限を使った

Despairing politicians feel **fears** that England's chances of hosting the World Cup in 2006 are fast vanishing.

絶望する政治家たちは、2006年のワールドカップをイングランドで開催するチャンスが急速に消え失せていく恐怖を感じている

The start of the trouble coincided on Sunday with the arrival of a double decker bus, sponsored by **the Sun**, playing the national anthem and handing out bowler hats.

トラブルが始まったのは、日曜、サンがスポンサーとなった二階建バスが、国歌を流して山高帽を配りながら到着したのと同時だった

なぜ山高帽なのかは、映画「時計仕掛けのオレンジ」(スタンリー・キューブリック監督)を参照のこと。

夏期講習がやってくる

夏期講習の詳細をお知らせします。

1科目1時間で、期間は、中3、高3が20日間。それ以外の人は10日間で、前後期のいずれかを選んで下さい。

なお、中3の国語は、前期は文法、後期は読解の内容で、前後期どちらかの受講も可能です。

前期：7月27日(月)- 8月6日(木) [1日(土)休講]

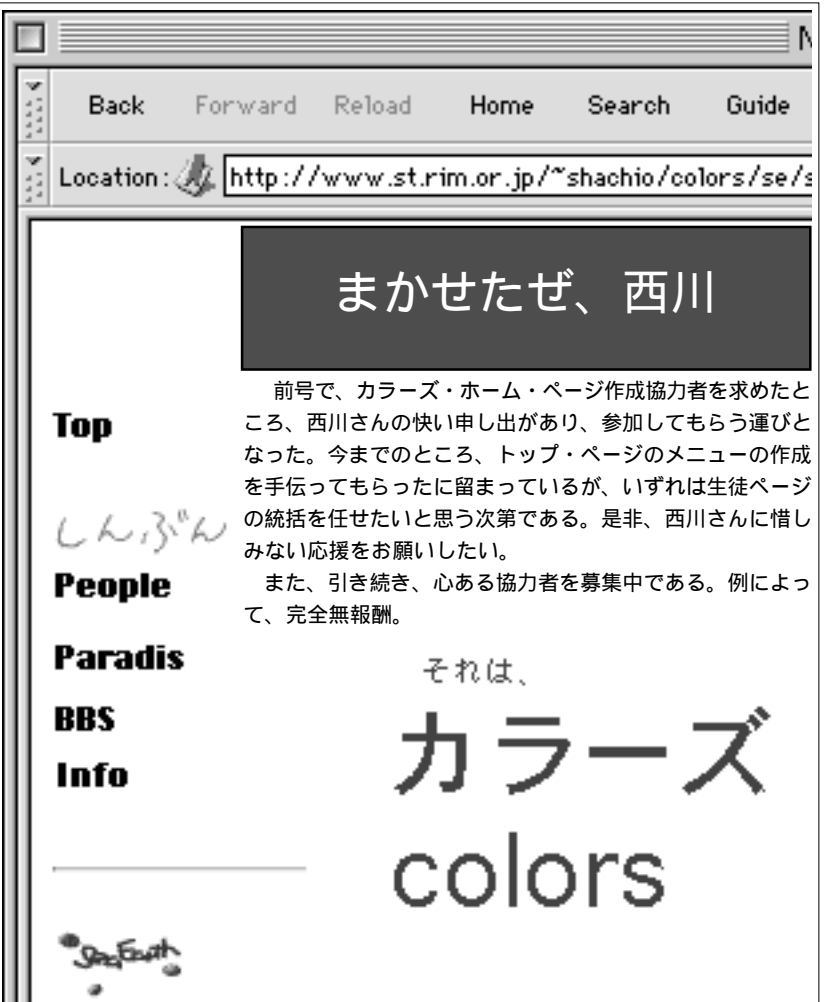
後期：8月19日(水)- 8月29日(土) [24日(月)休講]

BBSがやってきた!

ホームページの全面的なリニューアルに伴い、掲示板(BBS)を設けました。カラーズに関する事に限らず、自由にどんどん書き込んで下さい。匿名での書き込みも可能です。質問でも発言でもどんと来い...ってなもんだ。

父兄面接もあるぞ

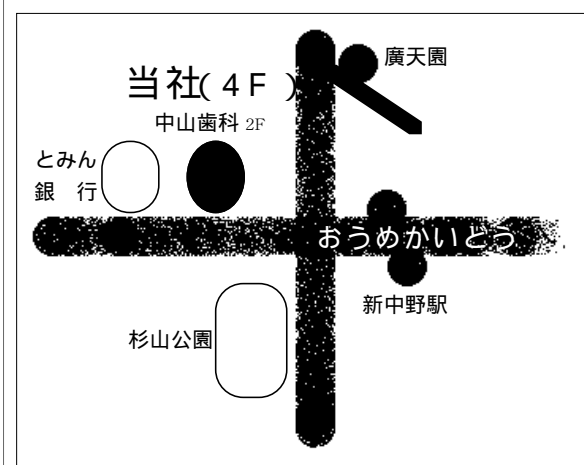
期末テストが終われば程なく夏休み。テスト終了後に、中3受験生の父兄を対象に面接を行なう予定です。詳細は追って連絡いたします。



ホームページ紹介

これはParadisのページ。
Paradisとはシーアス新中野(現カラーズ)の有志によって結成されたバンドである。卒業記念でしかお目にかかれないう、幻の集団である。

有志の雄姿が見られるぞ。
音も聞けるぞ(MIDI)。
歌詞も読めるぞ。



来社見学を御希望の方は左記のところへ。
丸ノ内線新中野駅徒歩〇分

編集後記
からす新聞第2号、無事、発行できました。新聞に限らず、これからも新企画目白押しなので、みなさんの御協力をお願いいたします。御意見・御要望・新名称案をぜひお寄せ下さい。
次号発刊予定日は七月二十五日です。編集協力者、特派員記者、及び、投稿を熱烈にお待ちしております。

エリックの新刊が出たぞ

